

ちしゃ (ラプンツェル)

KHM12 Rapunzel

ラプンツェルは魔女に引き取られ、塔の中に閉じ込められて暮らしていました。その塔は入口がないので、魔女はラプンツェルの長い髪を伝わって塔に登っていました。あるとき、通りかかった王子は美しいラプンツェルを見出し、魔女と同じようにラプンツェルの髪を伝わって塔へ入りました。それを知った魔女はラプンツェルを塔から追い出しました。王子は、悲しみのあまり塔から飛び降り、いばらに落ちて失明してしまいます。見えない目で何年も放浪した王子は、やがて野原でラプンツェルと再会します。王子との間に生まれた二人の子どもを連れられたラプンツェルの涙で、王子の目は再び見えるようになり、王子の国で幸せに暮らしました。



ラプンツェル：野ぢしゃ

ドイツでは、一般に Feldsalat と呼ばれて、生のままサラダで食べます。妖精の庭に無断で入って、ラプンツェルを取り、身重のおくさんに食べさせた代償に、生まれてくる子どもを妖精に渡す約束をしてしまいます。